



## 読解力を高めよう！

小学校の教科書や大学入試が変わる中で、「読解力」の重要性が高まっています。その一方で、学力に関する調査の中では、読解力が下がっているという指摘もあります。今、求められている読解力とは何か、どうすれば読解力を高められるのか、考えてみましょう。

### ①読解力って、どんな力？



読解力は、まとめた文章を読んでその意味を理解する、書き手の意図をつかみとる力といえます。しかし、最近ではグラフや図表など、文章の形ではないものから情報を読みとることや、読みとった情報を自分の意見に基づいて活用する力まで求められるようになり、新しくなった小学校の国語の教科書では、物語文や説明文の読み方などのほかに、ポスターや新聞、統計資料など、文章と文章以外の形でまとめられたものからの情報の読みとり方も取り上げられています。今年度から始まる新しい大学入試—大学入学共通テストの国語でも、文章と図表やグラフなどを組み合わせた出題が検討されています。



### ②読解力を高めるには？

#### ■知らない言葉に出会ったら、意味を調べて覚えよう

たとえば、夕方の時間帯を表す言葉には「夕暮れ」

「日の入り」「黄昏（たそがれ）」などがあり、意味が少しずつ異なります。

新しい言葉を覚えると文章をより深く理解することができ、ものを考える際の

思考力も高まります。辞書を使い、言葉の意味・例文を調べる習慣をつけるとよいでしょう。



#### ■要約をしよう

要約は、話の内容や書き手の主張を正しくつかむのに有効です。また、簡潔に人に伝えることができるようになります。段落ごとの関係や中心となる文を見つける練習をしましょう。

#### ■文章を読んだあとの感想をまとめよう

「自分が感じたこと・考えたこと」をまとめる際にも、より深く文章を理解しようとするため、読解力が高まります。



#### ■図表などが示す情報も整理しよう

文章と図表などがある場合は、何を示すものなのかをおさえ、文章と合わせて全体の情報を整理してみましょう。



音読すると発音や意味がわからない言葉がわかりやすいよ！意味を考えながら、ゆっくりと読んでみよう



↓過去の情熱通信はこちらから！

